

新聞掲載

南海日日新聞 R5.1.29

地域の魅力を発見・発信 東城子どもガイド

奄美市住用町の東城小中学校
（水井孝典校長、児童生徒約80人）
で14日、学校周辺の魅力ある場
所を紹介する「東城子どもガイ
ド」がありました。児童生徒は、
フランクや体育館などの学校施
設、絶滅危惧種のリュウキユウ
アユが生息する川内川、道中の
自然散策も楽しめるフナシギヨ
の滝を案内。校区内外から参加
した大人たちを前に地域自慢を
語り上げました。

奄美市の「幼ぐきよらの郷づ

くり事業」を活用した郷土教育
の一環。児童生徒は昨年10月こ
ろから任んでいる地域や郷土の
好きな場所、自慢したいことを
見つけ、発信する準備を始めて
きました。

ガイドは3班に分かれて実
施。地元の子どもたちにも人気の
川内川「ボット」ゆきたでは、
児童たちが身振り手振りを交え
ながら「ハンジー」ジャンプのよ
うに飛び込んだり、テナガエビ
を取ったりして遊んでいる。夏
になると行きたくてたまらなく
場所「など好きなポイント」を
アピール。本園で石を渡りさせ
た回数を競う「水切り」を体験
して参加者と二棒に盛り上がり
ました。

ガイドを終え、小学5年生の
林梨乃さん（12）は「たぐさん
の人の前で緊張したけど、楽し
くゆきたの魅力を伝えることが
できてよかった」と笑顔で話し
ました。

